

東陽中学校 【職員】 3学期の教育反省アンケート（H31. 2月実施）

〔 4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったく思わない 〕

番号	評価項目	平均値	
		2月	12月
1	ア 「東陽スピリッツ」が守られ、基本的な学習態度が定着している。	3.10	3.20
	イ 三点固定運動が着実に定着している。	3.10	3.11
	ウ 毎日の家庭学習の時間が90分以上確保されている。	2.67	2.50
2	ア 学習のめあて（ねらい）の提示とまとめを毎時間行っている。	3.11	3.10
	イ 基礎的・基本的な知識、技能の習得のための単元毎のミニテストを2回以上行っている。	3.00	3.00
	ウ 一人一人の理解状況を把握し、補充指導等、個に応じた指導を行っている。	3.00	3.13
	エ 授業と連動した家庭学習を工夫している。（ノーメディアデー）	2.86	2.22
3	ア 熊本型授業をモデルにした授業実践を展開している。	3.00	3.00
	イ 学力調査等の結果の活用や問題分析を行い、授業改善に努めている。	3.00	3.13
	ウ 教師が教育改革の動向を踏まえた毎月3冊の読書を行っている。	2.25	2.22
4	ア 生徒が見通しを持ったり振り返りができるような授業設計をしている。	2.67	3.11
	イ 毎時間言語活動の場面を設定している。	2.89	3.13
5	ア 道徳的価値を深める週1時間の授業を大事にし、道徳の時間と関連させた日常指導の工夫を行っている。	3.17	3.33
	イ 家庭・地域と連携した授業公開を行っている。	3.29	3.13
	ウ 「熊本の心」や「私たちの道徳」を活用している。	2.75	2.33
6	ア 人権問題に対してのプラスイメージをはぐくむ指導を行っている。	3.22	3.22
	イ 推進体制が確立し、指導力向上のための職員研修が充実している。	3.33	3.22
	ウ 教師の自己啓発と基本的認識が高まっている。	3.00	3.22
	エ 校内委員会の定期的開催と実践的取組が充実している。	3.11	3.11
	オ 外部機関との連携による生徒理解が進んでいる。	3.10	3.33
	カ 保護者、地域への啓発活動が進んでいる。（講演会等の実施）	2.78	3.00
7	ア 交流活動やボランティア活動、勤労生産的活動が充実している。	3.50	3.22
	イ 地域の歴史、伝統文化の継承活動が進んでいる。	4.00	4.00
	ウ 環境に関する指導が日常的に行われ、生徒の意識が高まっている。	3.00	3.20
	エ 自主的な生徒会活動が充実している。（あいさつ運動、Q-Uの活用）	3.50	3.67
	オ キャリア教育が充実している。	3.10	3.00
8	ア 朝自習で読書活動を行い、生徒は毎月3冊以上読んでいる。	3.11	2.89
9	ア 生涯体育を見通した、生徒一人一人が充実感や満足感を味わうようなスポーツ活動ができている。	3.70	3.56
	イ 適正で魅力ある運動部活動を行っている。（「はばたけ、八代っ子」）	3.80	3.70
10	ア 健康観察や健康診断等の結果を生かした指導ができている。	3.50	3.67
	イ 安全な生活、交通、災害、不審者等への対応について知識や技能を身につけさせている。	3.50	3.60
11	ア 食育の視点から教科や道徳等でも食に関する知識や望ましい食習慣の定着を図っている。	3.22	3.25
	イ 食事の準備、マナー、後片付け等がきちんとでき、楽しい会食になるような指導ができている。	3.50	3.30
11	ア 整理整頓、清掃活動等の実践により美しく安全な環境が整っている。	3.40	3.20
	イ 学校から積極的に情報発信を行っている。（学校便り、学級通信等）	3.80	3.50
	ウ 地域人材を授業で積極的に活用している。（ゲストティーチャー等）	3.56	3.60
	エ 保・小・中の連携や保護者、地域の声、学校評議員等の意見に耳を傾け、教育活動の改善が進んでいる。	3.50	3.11
	オ 小中一貫・連携教育を着実に推進している。	3.00	3.00
	カ いじめの防止・早期発見に学校全体で取り組んでいる。	3.40	3.22

3学期の教育反省 <教職員>

■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 ■ 0

